

スラストブロックの設計



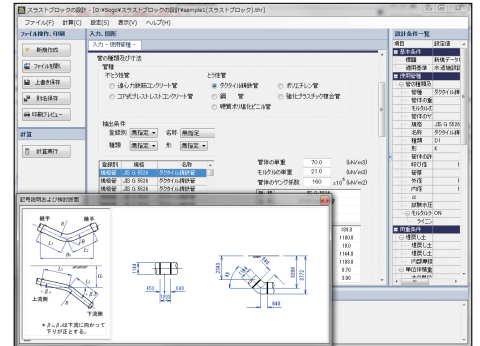
スラスト力の検討を行い、滑動に対する検討、価格 **100,000円** (税抜)
 浮上に対する検討、沈下に対する検討を行います

適用基準・参考文献

- 土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計パイプライン (農業農村工学会)
- 水道施設設計指針 2012 (日本水道協会)

製品概要

本システムは『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」平成21年3月』などに基づいて、とう性管、不同性管を対象として屈曲部、分岐部、T字管、片落ち部、弁栓部、鉛直Sバンド管に対してスラスト力の検討を行い、対策工の可否を判定します。またスラストブロックの設計として、滑動に対する検討、浮上に対する検討、沈下に対する検討を行います。



機能詳細

対応管種

不同性管	遠心鉄筋コンクリート管 コア式プレストレスコンクリート管
とう性管	ダクトイル铸铁管
	鋼管
	硬質ポリ塩化ビニル管
	ポリエチレン管
	強化プラスチック複合管

尚、管のデータは管種ごとに追加、編集が可能となっています。

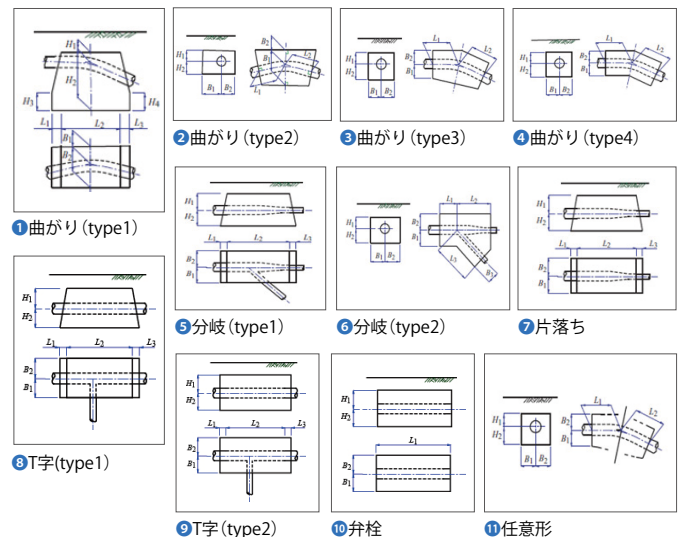
スラスト力の検討箇所

- 1 パイプラインの屈曲部
- 2 パイプラインの分岐部
- 3 パイプラインにバルブ (制水弁) が設置される箇所
- 4 パイプラインの口径が変化する箇所 (片落ち部)
- 5 T字管
- 6 弁栓部
- 7 鉛直Sバンド管

*鉛直Sバンド管はスラスト力の検討のみになります。

*「弁栓部」では、弁室側壁にステイフナーを取り付けた形状で、スラスト力に対して、「管体応力計算」、「コンクリートの押し抜きせん断応力度」、「ステイフナー溶接部のせん断応力度」の照査を行います。

スラストブロックの設計

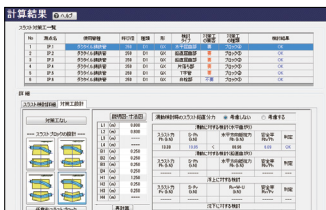


その他機能

- 「一体化長の計算」の入力データファイルも読み込み可能です。
- 出力帳票は「出力ツール (有償版)」 (別売) によりMicrosoft Word・Microsoft Excelのファイルへ変換できます。

スクリーンショット

● 対策工設計



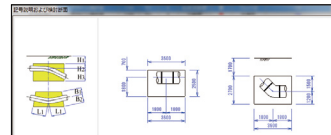
● 基本条件入力画面



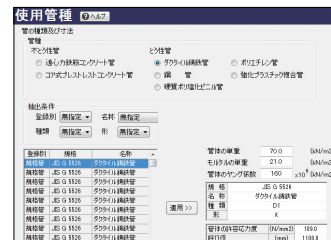
● 荷重条件入力画面



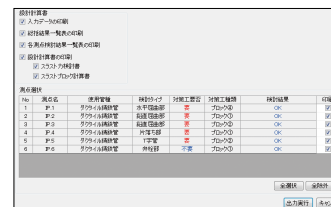
● 対策工寸法



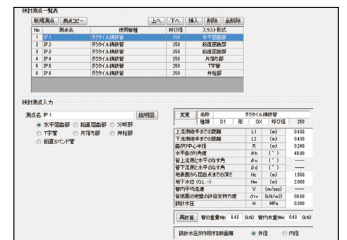
● 使用管種入力画面



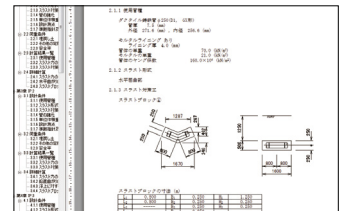
● 出力選択画面



● スラスト力の検討入力画面



● 印刷プレビュー画面



● 計算結果画面

